

**Press Release**

◆ 内容についてのお問い合わせ  
独立行政法人国際協力機構北陸支部 (JICA 北陸)

TEL: 076-233-5931 FAX: 076-233-5959

## ペルーで汚泥からバイオマス燃料を製造

### 富山市の株式会社アースコーポレーションと JICA が連携

国際協力機構(JICA)は9月2日、富山県富山市の株式会社アース・コーポレーション(野崎裕功社長)による、リマ市における有機性汚泥の乾燥処理技術を活用したバイオマス燃料の製造に係る案件化調査を仮採択としました。

ペルーの首都リマ市では近年の人口増加も影響し、排水や汚泥が河川や海岸に流入し、環境問題となっています。

同社は富山県や石川県の市町村が管理する下水道浄化センターやクリーンセンターから排出される有機性汚泥を受け入れて、バイオマス燃料を製造しています。バイオマス燃料製造プラントで汚泥の含水率を調節することで、通常廃棄される汚泥を堆肥原料やボイラーの燃料として有効利用しています。

今回、同社はペルーでこの技術を使って、汚泥の処理やバイオ燃料の製造に関する可能性について調査します。この調査により ODA 案件化とビジネス展開の実現性が明らかとなり、ペルーにおいて排水処理の問題解決に貢献することが期待されます。



バイオマス燃料製造プラント



乾燥汚泥

この調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」として実施されます。

案件化調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術を ODA 事業に活用するための情報収集・事業計画立案等を支援することを目的としたもので、2012年度から実施されており、2014年度は本年5月に公示を行いました。

176 件の応募のうち 26 件が採択され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。